<table>
<tr><td>活動名</td><td colspan="4">キンボールスポーツ
直径１ｍを超えるボールをチームで協力しながらキャッチし、ボールを打ち合う競技です。３チームが一度にコート内で試合を行い、得点を競います。</td><td rowspan="3"> </td></tr>
<tr><td>活動のねらい</td><td colspan="4">〇考えた戦略をチーム内で話し、コミュニケーションをとりながら試合をすることで、協調性を育みます。</td></tr>
<tr><td>育つ力、身につく力</td><td colspan="4">協調性・戦略を立てる思考力</td></tr>
<tr><td rowspan="7">活動条件</td><td>実施場所</td><td colspan="2">体育館、講堂</td><td>集合場所</td><td>実施場所</td></tr>
<tr><td>所要時間</td><td colspan="2">―</td><td>人　数</td><td>12 名～36 名</td></tr>
<tr><td>開始可能時間</td><td colspan="2">―</td><td>対　象</td><td>小学５年生以上</td></tr>
<tr><td>実施時期</td><td colspan="2">通年</td><td>その他</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">職員による指導の内容</td><td colspan="3">こちらは自主活動となります。職員による指導はありません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">引率者の役割</td><td colspan="3">活動の説明、進行、安全指導、チーム・対戦順決め</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">準備するもの</td><td colspan="3">交流の家で用意するもの（貸出し）</td><td colspan="2">購入していただくもの</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="3">☆キンボールスポーツ用具一式
・キンボール
・ゼッケン（ブラック・グレー・ピンク）
・スコアボード</td><td colspan="2">☆１セット 1,000 円/日（レンタル）</td></tr>
<tr><td colspan="2">団体で用意するもの</td></tr>
<tr><td colspan="2">☆なし</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">活動の流れ（９０分間の例）</td><td>活動項目</td><td>所要時間</td><td colspan="2">活動内容（例）</td></tr>
<tr><td>活動準備</td><td>５分</td><td colspan="2">□必要な用具の準備
→体育館器具室Ｃの倉庫から出します。
※器具室Ｃは施錠しています。事務室に声をかけ、担当職員と一緒に物品を確認をする。
※キンボールは交流の家職員が空気を入れます。</td></tr>
<tr><td>活動</td><td>70 分</td><td colspan="2">□リードアップゲームの実施
・キンボールに慣れるため、ボールを使った簡単なゲームを実施する。
→サークル鬼ごっこ
…円のなかに１～３人のプレイヤー（鬼）が入り、円を作っているプレイヤーが鬼にボールを当てる。
→キンボールリレー
…キンボールをバトン代わりにし、２ 人１組でチーム対抗のリレーを行う。
□試合の進め方とルールの確認
・ボールの打ち方や得点の入り方の確認。
・コートのラインやサイズの確認。
・反則事項の確認など。
□対戦スタート
・チーム内で作戦を立てながら試合を進める。
・対戦のないチームが審判や得点係を行うことも可能。</td></tr>
<tr><td>ふりかえり</td><td>10 分</td><td colspan="2">□対戦を行った感想をチーム内で共有する。</td></tr>
<tr><td>活動後</td><td>５分</td><td colspan="2">□物品を片付ける。
※器具庫Ｃから出した物品は扉の前に置く。
□活動が終了したことを事務室に伝え、破損等があった場合は報告する。</td></tr>
<tr><td>注意事項</td><td colspan="4">〇練習を積んでいない人がキンボールを打つときは、必ず両手で行ってください。手首や肘を痛める恐れがあります。
〇キンボールを打つときに、ボールを支えるプレイヤーはできるだけ頭を下げてください。頭が上がっているとボールが頭に当たる可能性があり危険です。
〇キンボールを受ける時に、手を使うときは、必ず手のひら全体を使用してください。
〇キンボールリレーをする際は、ボールの上に子どもが乗り上げないよう、手でしっかりボールを押すよう指導してください。</td></tr>
</table>

キンボールスポーツについて

【コート】

最大２０m×２０mのコート（参加者の身体条件や年齢を考慮して決める。必ず正方形でなくてよい。）

【選手】

１チーム４名、３チームで行います。１チームは最大１２名まで編成できます。メンバー交代はミスや反則があり、試合が中断したときであればいつでも何回でも交代できます。

【ゲームの進め方】

（１）３チームの色をピンク、ブラック、グレーの中から選び、チームカラーのゼッケンを着用する。

（２）１ピリオド7～15 分、休憩３分の３ピリオド行う。

（３）ゲーム開始時のヒット権は、各チームのキャプテンがじゃんけんで決める。

（４）以下のヒットとレシーブをミスや反則があるまで続ける。

- ３人でボールを支え、相手チームの色をコールした後、プレイヤー1 人がボールをヒットする。
- コールは、「オムニキン」と言った後、「〇〇〇（自チーム以外の色）」と叫ぶ。
- コールされた色のチームは、ボールが床に落ちる前にレシーブする。
- レシーブは全身を使うことができる。
- ボールが床に落ちる前に、チームメイトと協力し、３人で支える。
- レシーブしたチームがヒットチームとなり、コール後ボールをプレイヤーの１人がヒットする。

（５）ミスや反則があったチーム以外に１点ずつ得点が入る。

（６）２ピリオド以降は、最も点数の低いチームが最初のヒット権を得る。

※同点の場合はじゃんけんで決めます。

【ヒット時の反則内容】

- ヒット時に４人全員が触れていない場合
- ヒットしたボールが直接コートの外に落ちた場合
- コールの声が小さく、審判に聞こえなかった場合
- コールの前に打ったり、コールと同時にヒットしたりした場合
- ヒットしたボールが 1.8m以上飛ばなかった場合
- 床と水平、もしくは下向きに飛んだ場合
- １人のプレイヤーが連続してヒットした場合
- プレー開始時または再開時に、審判のホイッスル後、５秒以内にヒットしなかった場合
- 負けているチームをコールした場合

【レシーブ時の反則内容】

- レシーブしたボールがコートの外に落ちた場合
- レシーブ時、両足がコートの外にある場合
- ヒットの瞬間に、ボールから 1.8mの範囲に同じチームのプレイヤーが２人以上いた場合
- １番目のプレイヤーがレシーブしてから１０秒以内にヒットしなかった場合
- ３番目のプレイヤーがボールに触ってから、意図的にボールを水平方向に移動させた場合

Q. キンボールスポーツはプレイヤー同士が接触するスポーツですか？

A　キンボールスポーツはいかなる身体接触も禁じており、プレイヤーは接触しないようにする必要があります。